

2025年2月期

決算補足説明資料

2025年4月11日

シンメンテホールディングス株式会社
(東証グロース：6086)

■ 過去最高の業績達成

売上高 **257億 7百万円**(前期比15.0%増)

経常利益 **15億62百万円**(前期比24.1%増)

■ 生産性の向上

社内研修、従業員のスキルアップ、業務効率化により生産性が上がり、経常利益率も向上した。

■ 本社事務所移転

業績の拡大に伴い、オフィスの増床およびメンテナンス道場の拡張・リニューアルを行い、更なるサービス向上を目指して本社移転した。(2025年3月1日移転)

■ 配当の増配

好業績に伴い、期初予想28円を32円とする過去最高配当を実施予定。

- 1. シンメンテホールディングスについて**
- 2. 2025年2月期 決算報告**
- 3. 2026年2月期 業績予想**
- 4. 今後の見通し**
- 5. Q&A**

1

シンメンテホールディングスについて

経営理念 ビジネスモデル

経営理念

夢新（むしん、ゆめあらた）

豊かな人生、豊かな社会の実現という夢をもち、新たな挑戦を続ける集団でありたいと考えております。

ビジネスモデル

- チェーン展開している店舗・施設の設備・機器のトータルメンテナンスサービスを提供。
- 業界最大規模の全国メンテキーパーネットワークを駆使した迅速かつローコストサービスを提供する仕組みが強み。



お客様の業態

■ 飲食業界で培った経験・ノウハウを活用し、物販等、チェーン展開をしている様々なお客様の店舗・施設設備の不具合を解決し続けている。

飲食

- ・居酒屋
- ・カジュアルレストラン
- ・高級レストラン
- ・ファーストフード
- ・弁当、総菜
- ・喫茶、カフェ
- ・焼肉、ステーキハウス
- ・寿司
- ・中華
- ・料亭
- ・定食、そばうどん
- ・ビアホール



物販・小売

- ・ドラッグストア
- ・調剤薬局
- ・家電量販店
- ・家具・インテリア専門店
- ・ホームセンター
- ・100円ショップ
- ・紳士服専門店
- ・カジュアル衣料専門店
- ・メガネ専門店
- ・生活雑貨
- ・書店
- ・靴専門店
- ・スポーツ用品専門店
- ・パソコン専門店
- ・サイクルショップ
- ・自動車販売業
- ・中古車販売
- ・ガソリンスタンド
- ・リカーショップ
- ・食品スーパー
- ・コンビニ



介護・理美容・その他

- ・介護（施設系サービス）
- ・介護（在宅系サービス）
- ・美容室
- ・理容室
- ・エステ
- ・温浴施設
- ・フィットネス
- ・整体マッサージ
- ・カラオケ、漫画喫茶
- ・ペットショップ
- ・学習塾
- ・ホテル
- ・コインランドリー
- ・社員寮
- ・自治体、公共事業
- ・医療施設



チェーン展開している店舗・施設にサービスを提供

メンテナンス サービスアイテム

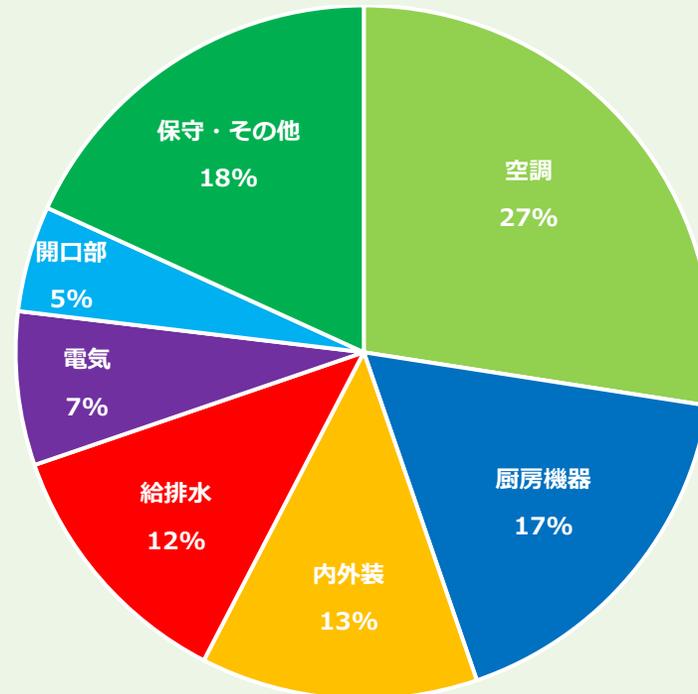
■24時間365日 幅広いメンテナンスサービスを提供。主に、緊急メンテ、Pメンテ、保守サービス。

※Pメンテとは、ビッグデータに基づき、各店舗に合わせた最適なメンテナンス計画を提案、実施する計画修繕のことである。

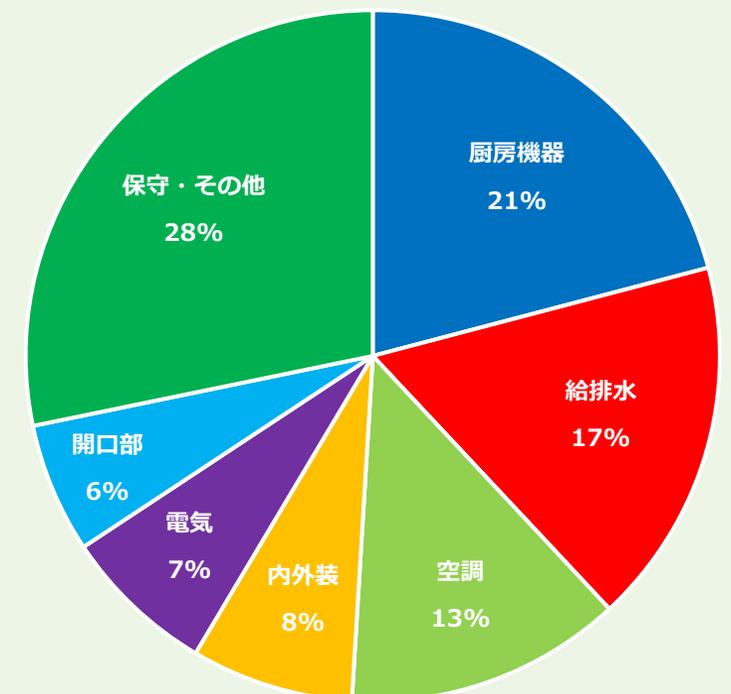
■前期と比べ、対応依頼件数、売上高ともに空調 関連の比重が高まっている。



売上高構成比



対応依頼件数構成比



※各円グラフの集計期間は2024年3月～2025年2月

※その他の内訳
消防点検、廃棄物管理など

※開口部の内訳
扉・鍵・ガラスなど

本社移転

■ オフィスの増床

9階は執務フロア、10階は受付、会議室、メンテナンス道場兼食堂として利用。新オフィスではコックピットマネジメントを導入し、業務の効率化を図る。

■ メンテナンス道場

拡張、リニューアルを行い今後の更なるサービス向上を目指す。

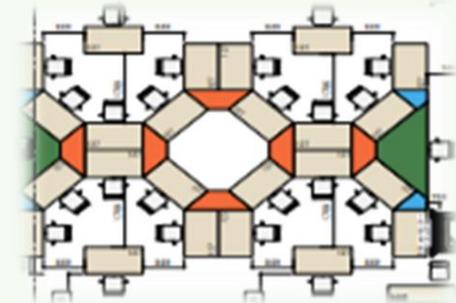


本社住所

〒140-0002
東京都品川区東品川4丁目12-6
品川シーサイドキャナルタワー9階10階

コックピットマネジメント

座席は、機長（上長）を中心に配置され、周囲に部下やチームメンバーが座る形になる。これにより、リーダーシップとチームワークが強化されると考える。座席の配置は、メンバー間の対話を促進し、意見交換や情報共有がしやすくなるように工夫されている。



メンテナンス道場

旧事務所よりも大きく拡張し、機器や設備が充実した研修場となった。

2

2025年2月期 決算報告

決算の概況

(単位：百万円、%)

■売上高

猛暑の影響で空調関連の需要が高まった。飲食業界に限らず介護業界など幅広い業界の受注獲得により、過去最高売上高となった。

■売上総利益

物価高による資材価格上昇の影響もある中、継続した原価の適正低減策により、売上総利益率が0.1%増加した。

■販管費

賃上げによる人件費増、本社移転費用等の増加要因はあったが、業務効率も高まり販管費率は低下した。

■経常利益

営業外収益として保険解約返戻金24百万円を計上した。

■当期純利益

好調な業績により、過去最高利益となった。

損益	2024年2月期 実績		2025年2月期 予想		2025年2月期 実績	
		構成比		構成比		構成比
売上高	22,354	100.0	24,171	100.0	25,707	100.0
売上総利益	5,017	22.4	5,452	22.6	5,839	22.7
販管費	3,762	16.8	4,152	17.2	4,304	16.7
営業利益	1,255	5.6	1,300	5.4	1,534	6.0
経常利益	1,259	5.6	1,300	5.4	1,562	6.1
親会社株主に帰属する 当期純利益	861	3.9	880	3.6	1,033	4.0
1株当たり配当金	27.00円	—	28.00円	—	32.00円	—

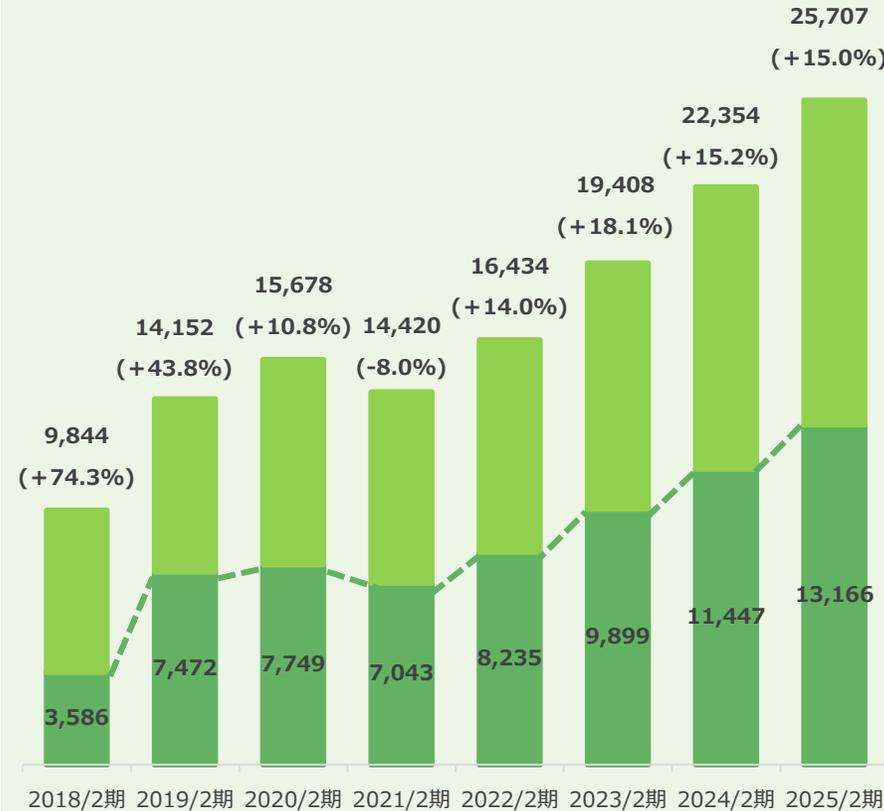
※2025年5月開催の定時株主総会に付議予定。

売上高/経常利益の推移

■ 新型コロナウイルス感染症の影響により、2021年2月期は一時的に落ち込んでいるが、安定的に成長している。

【売上高】

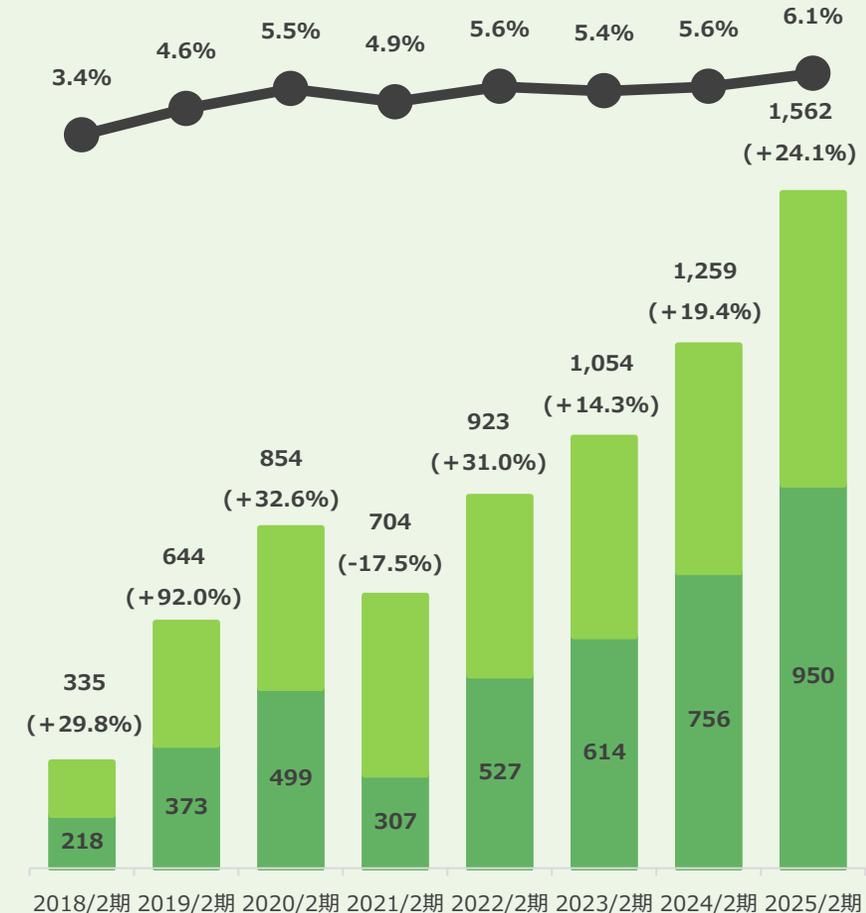
(単位：百万円)



■ 上半期 ■ 下半期 () は前年増減率

【経常利益・経常利益率】

(単位：百万円)



■ 上半期 ■ 下半期 () は前年増減率

貸借対照表

(単位：百万円)

■ 資産

- ・利益の増加、取引量の拡大により現預金が72百万円、売掛金が442百万円増加。
- ・本社移転造作等により有形固定資産が223百万円増加。

■ 負債

- ・取引量の拡大により買掛金が393百万円増加。
- ・本社移転造作等により未払金が331百万円増加。

■ 純資産

- ・当期純利益の計上により利益剰余金が620百万円増加。
- ・機動的な資本政策を遂行するため、自己株式を取得したことで818百万円減少。

	2024年2月期 実績	2025年2月期 実績	前期増減
資産	8,302	9,066	764
流動資産	7,313	7,731	417
固定資産	988	1,335	346
(内、のれん)	61	39	△22
負債	4,629	5,514	885
流動負債	3,995	4,776	781
固定負債	634	737	103
純資産	3,672	3,552	△120

3

2026年2月期 業績予想

2026年2月期 業績予想

(単位：百万円、%)

損益	2025年2月期 実績		2026年2月期 予想		前期増減	
		構成比		構成比		増減率
売上高	25,707	100.0	28,913	100.0	3,206	12.5
売上総利益	5,839	22.7	6,542	22.6	702	12.0
販管費	4,304	16.7	4,860	16.8	555	12.9
営業利益	1,534	6.0	1,681	5.8	146	9.6
経常利益	1,562	6.1	1,706	5.9	144	9.3
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,033	4.0	1,117	3.9	84	8.2
1株当たり配当金	16円	-	18円	-	-	-

- 売上高**
 これまで同様、飲食業界は勿論のこと、物販・小売業、介護業界など幅広くサービスを提供し12%超の増収を見込む。
- 売上総利益**
 引き続き物価高による資材価格等の上昇が見込まれるが、継続した仕入れ購買力の強化により0.1%減の売上総利益率を見込む。
- 販管費**
 賃上げによる人件費の増加を見込むことで、12.9%増加を予想する。
- 当期純利益**
 増収による増益を見込む。

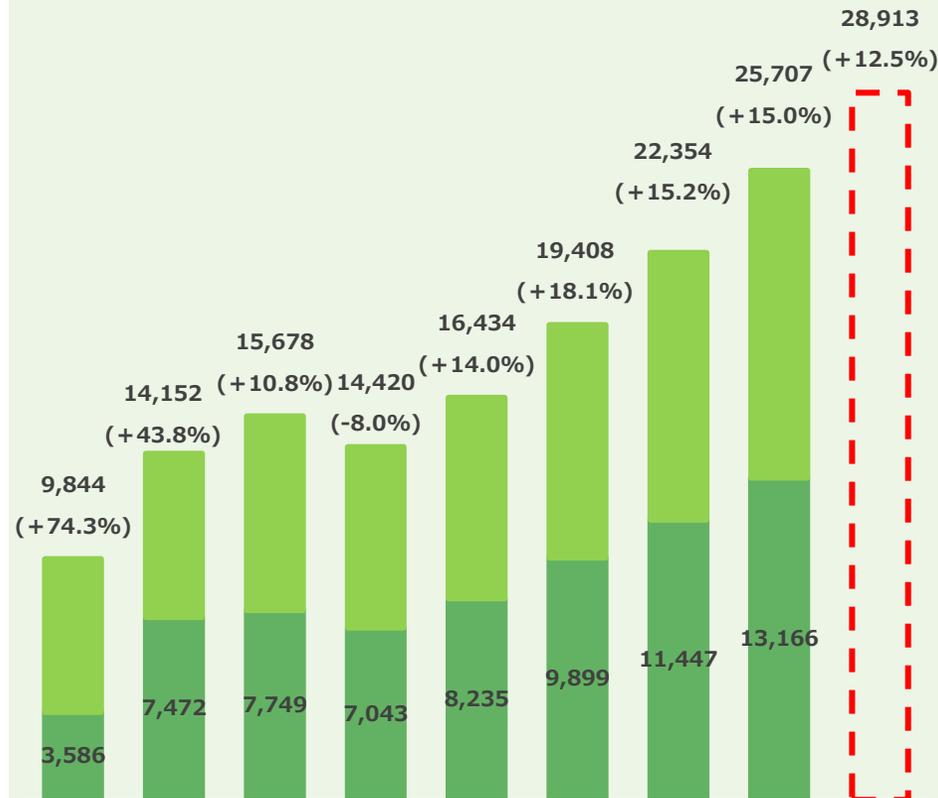
※2025年5月開催の定時株主総会に付議予定。

※2025年3月1日付けで1株につき2株の割合で株式分割しており、1株当たり配当金は遡及修正。

業績予想を含む 売上高/経常利益 の推移

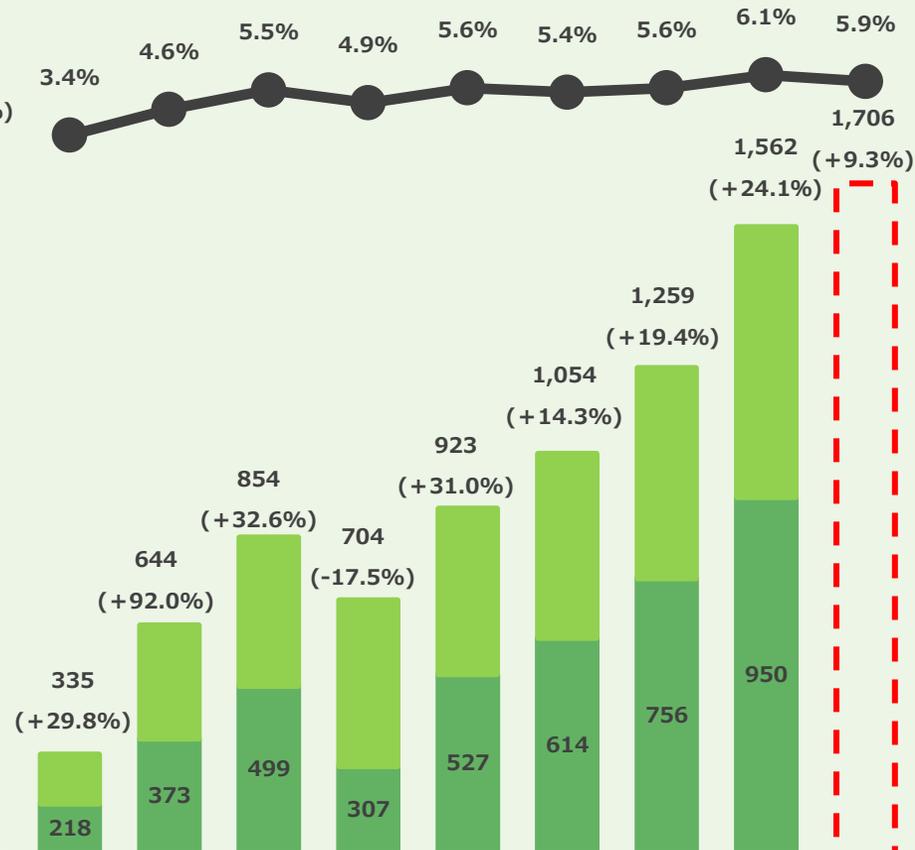
【売上高】

(単位：百万円)



【経常利益・経常利益率】

(単位：百万円)



2018/2期 2019/2期 2020/2期 2021/2期 2022/2期 2023/2期 2024/2期 2025/2期 2026/2期

2018/2期 2019/2期 2020/2期 2021/2期 2022/2期 2023/2期 2024/2期 2025/2期 2026/2期

■ 上半期 ■ 下半期 () は前年増減率

■ 上半期 ■ 下半期 () は前年増減率

株主還元の様況

当期-2025年2月期-

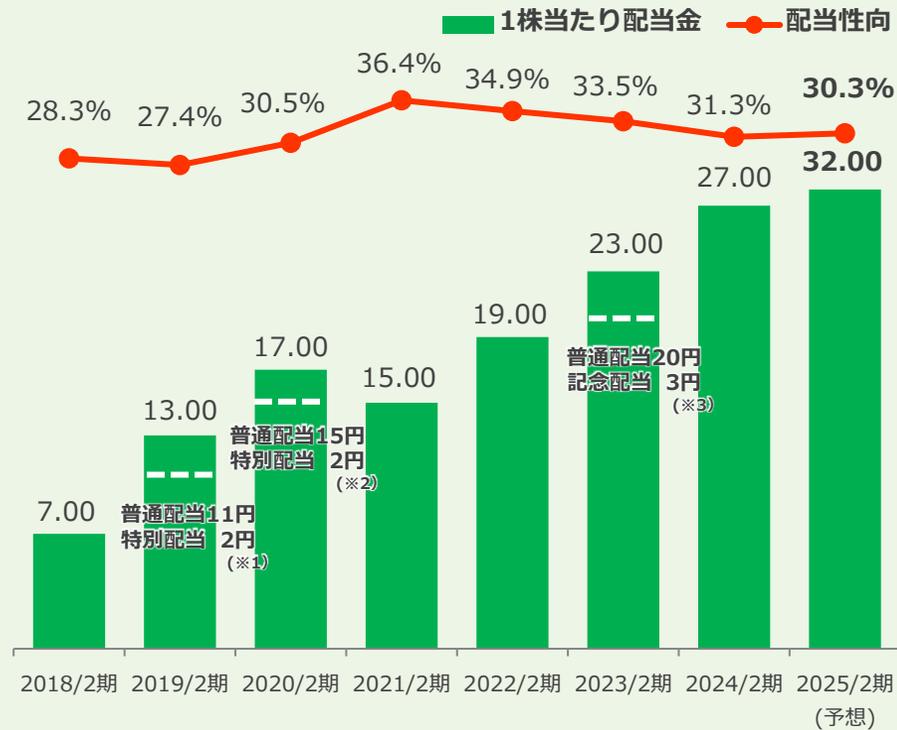
■ 配当方針

株主の皆様への利益還元を重要な経営課題の一つとして、配当原資確保のための収益力を強化し継続的かつ安定的な配当を行うことを基本方針とする。

■ 好業績に伴い、2025年2月期配当金を、期初予想28円から32円に予想を修正した。

【1株当たり配当金と配当性向】

(単位：円)



(注) 2020年3月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。本チャートにおける配当金は、遡及修正を行い表示しております。

(※1.2) 当初予算を超過したことによる特別配当を実施いたしました。

(※3) 上場10周年の記念配当を実施いたしました。

【株主優待】

保有株数	優待内容
100株以上 500株未満	ジェフグルメカード 500円相当
500株以上 1,000株未満	ジェフグルメカード 1,000円相当
1,000株以上	ジェフグルメカード 3,000円相当



株主還元の様況

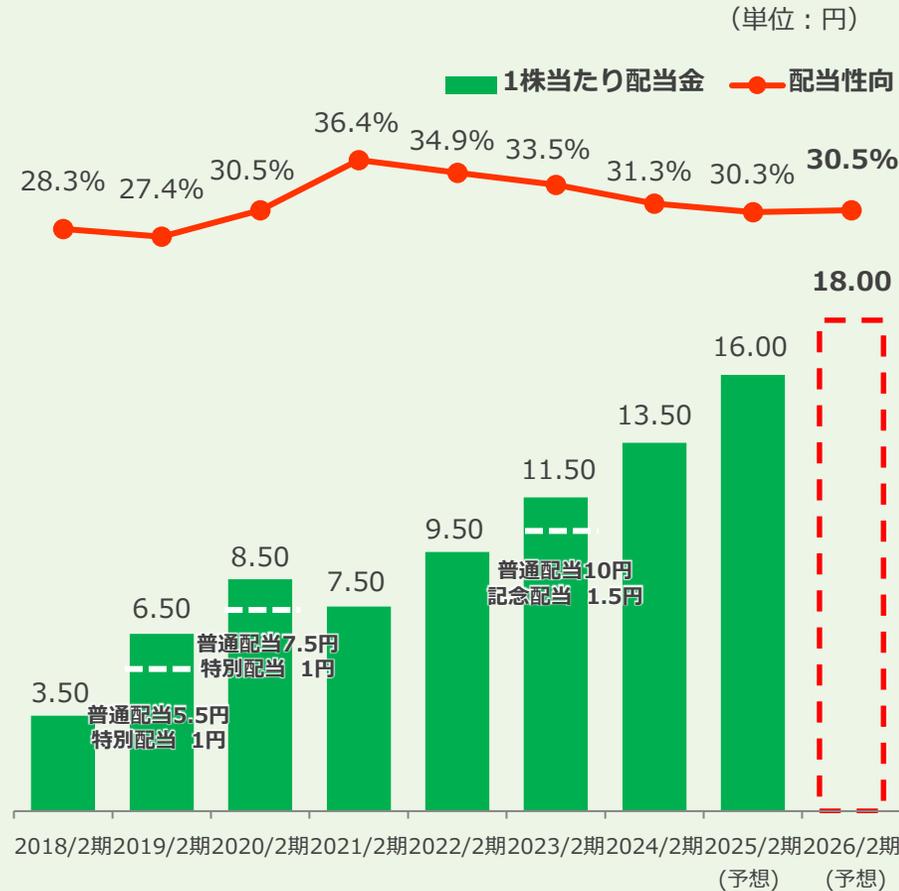
次期-2026年2月期-

■ 配当方針

株主の皆様への利益還元を重要な経営課題の一つとして、配当原資確保のための収益力を強化し継続的かつ安定的な配当を行うことを基本方針とする。

■ 2025年3月1日付で1株につき2株の割合で株式分割しているため、配当金を遡及修正して表示。

【1株当たり配当金と配当性向】



(注1) 2025年3月1日を効力発生日として普通株式1株を2株に分割、及び2025年2月期までの分割についても、配当金に関しては遡及修正を行い表示しております。

【株主優待】

保有株数	優待内容
100株以上 600株未満	ジェフグルメカード 500円相当
600株以上 1,200株未満	ジェフグルメカード 1,000円相当
1,200株以上	ジェフグルメカード 3,000円相当



4

今後の見通し

成長戦略

- 当社のメンテナンス事業において、国内5000億円超のマーケットがあると考えており、拡大余地は大きく、さらなるシェアの拡大を図る。
- 国内のみならず、ビジネス活動の舞台を海外にも広げていく。ターゲットとなる国／エリア、海外進出の方法等を慎重に検討し、グローバル企業に成長・進化すべく、最初の一步を踏み出す。



規模の経済、時間を買う
安定成長を実現してきた営業力、経営力
M&Aを成功させるノウハウを生かし、
企業成長を図る。

市場動向を踏まえた綿密なビジネス計画
拡大させる市場を見極めつつ、新市場開拓に
よる企業価値向上を目指していく。

既存業界市場から8-10%の成長
安定成長を実現してきた営業力・経営力を生かし
着実に成長していく。

M & Aの基本方針

- 規模の経済、時間を買う
これまで安定成長を実現してきた営業力や経営力に加え過去M & Aを成功させたノウハウを生かし、対象会社のみならずグループ全体の成長を図る。

● ターゲット

- ・ メンテナンス事業を行っている会社
- ・ メンテナンス事業とシナジーのある周辺領域を扱っている会社
- ・ 対象会社の本店所在地や営業エリアは国内外を問わない

● 戦略視点

- ・ 創業以来安定成長を実現してきた当社の経営力を生かし、対象会社の成長を加速させる
- ・ 当社におけるPMI成功実績を踏まえた対象会社の成長戦略
- ・ 対象会社を当社の同業（周辺領域を含む）に絞ることによるPMIリスクの最小化

● 財務

- ・ 適切な財務健全性に基づき投資
- ・ 合理的なEBITDA倍率を基準
- ・ 原資は、負債調達を基本としつつ、資本調達も選択肢の一つ

戦略Ⅱ

■ 既存顧客

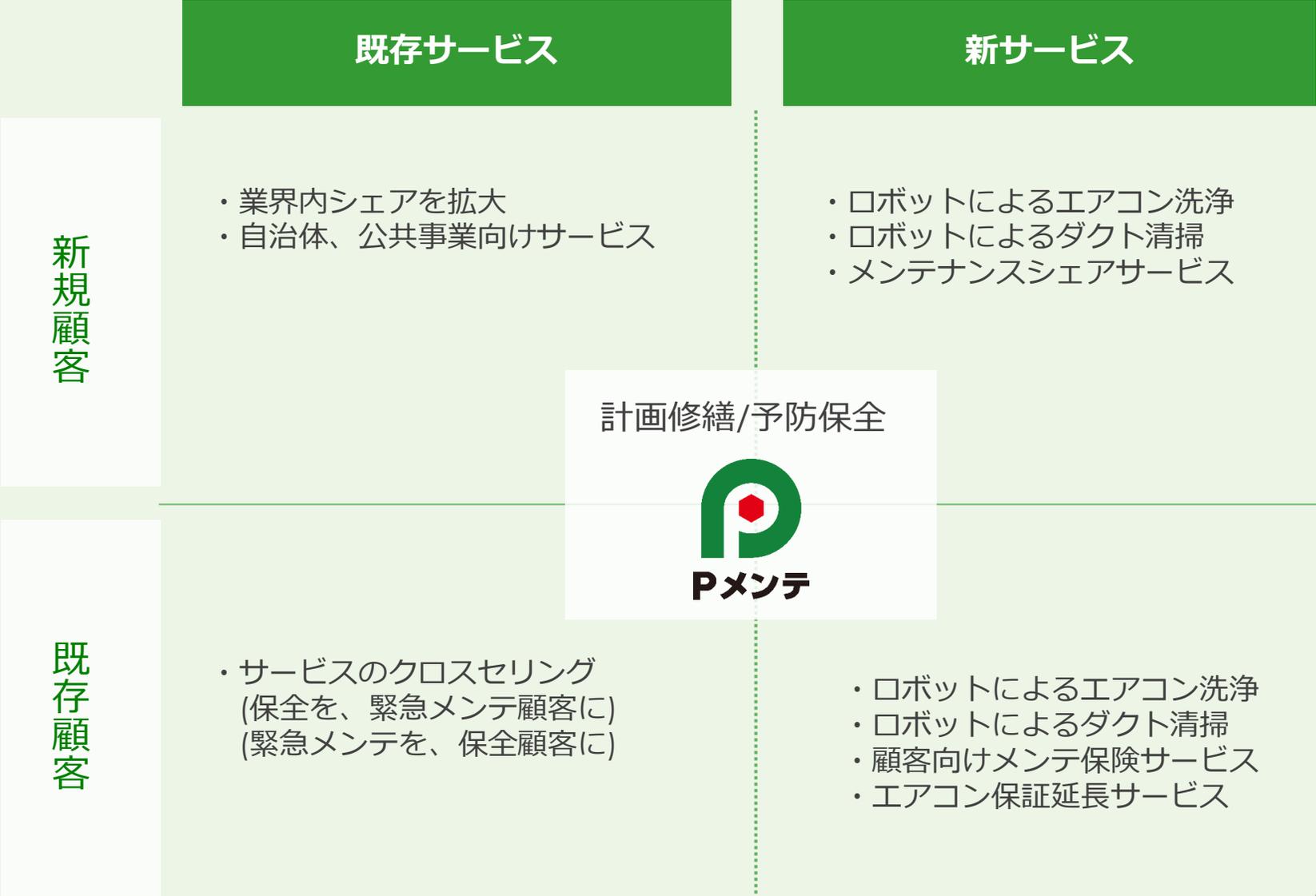
ご利用いただいていないサービスのクロスセリングを実施。

■ 新規顧客

新サービスをテコに拡大。

■ すべての顧客

需要の高いPメンテを全国的に推進していく。



ロボットによる 業務用エアコン洗淨 サービス

シンロボサービス株式会社 3期目



Shin Maint
Holdings

- ・洗淨ロボットの製造を進め、現在30台を市場に投入している。
- ・飲食/物販/介護等のお店/施設にロボットによる洗淨サービスを提供中。高い評価をいただき、リピートに繋がっている。
- ・機能改善も進めながら、協力業者の拡大・育成に努め、ロボットによる洗淨サービスの提供先顧客・エリアを拡大している。
- ・現在、主要協力業者は5社。関東全域に大阪地区を加え、拡大中。



- 3K（きつい、汚い、危険）と言われる業務用エアコンの分解洗淨業務。
- 企業では、SDGs活動が定着し、環境への配慮、“エコ”に繋がる施策が奨励されている。
- 電力コスト削減、クリーンな空気に対する要求が高まる一方労働人口減少を背景に、洗淨の担い手不足が懸念される。
- ロボットによるエアコン洗淨は「誰でも」「均一品質」を実現できる画期的な解決策。

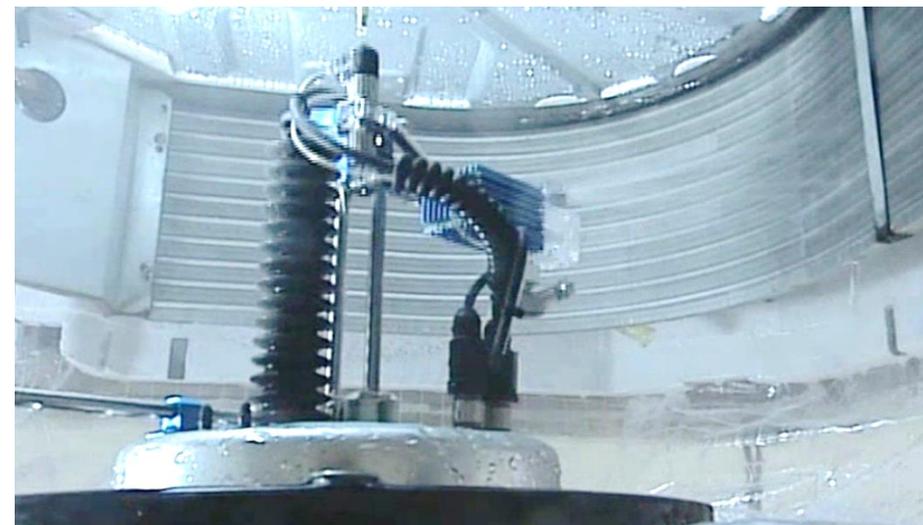
これから

近い将来100台/年の生産を目指す。

協力業者の育成と拡大を図り、サービス提供能力を高める。

安定したサービス提供のための品質マニュアル整備を進める。

業務用エアコン洗淨サービスで圧倒的なシェアを獲得。



■ 飲食業界以外への業界・顧客へのビジネスの拡大が進む中「飲食業界・顧客の復調による依頼増」に適切に対応し業容拡大を目指す。



飲食業界

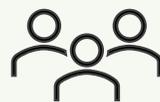
- ▶ 飲食業界・顧客の復調による依頼増加に適切に対応する。
- ▶ 好調な空調関連メンテナンスに加え内外装など他アイテムの需要を掘り起こす。



飲食業界以外

(物販・小売・介護)

- ▶ 需要の高いPメンテを全国的に推進していく。
- ▶ 売上構成比率は高まっている為、さらに販売促進活動を強化、継続し、既存顧客の拡大に加え新規顧客やアイテムを獲得していく。



人的資本

- ▶ 業容拡大を支える人材の採用や教育、ケアに努める。
- ▶ 地方の営業活動強化に伴い不足が予想されるメンテキーパーネットワークの安定性を確保する。

5

Q&A

質問	回答
業績変動は季節の影響が関係しているか。	関係している。夏場の猛暑や台風の影響で機器故障が多く発生する。
機器や部品の供給不足による影響はあるか。	影響はつけたが、事前に在庫確保等の対策を行っていた。
競争優位性はあるか。	自社でサービスマンを抱えず、全国メンテキーパーネットワークを駆使し、迅速に解決する。また、規模の経済によりメンテナンスコストを最適化している。
中期経営計画を出す予定はあるか。	国内外の政治、経済状況を見定め、ある程度見通しがつき次第、作成を検討している。

IRに関する免責事項

当資料は、投資家の皆様にシンメンテホールディングス株式会社への理解を深めていただくことを目的として、経営や財務に関する情報を提供するものです。

以下の点をご了解の上、ご覧ください。

- 見通し等は、作成時点において当社が予測しうる範囲内で作成したものです。
- 記載の見通し等とは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおりますことをご承知ください。
- 投資に関する決定は投資家ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。
- 掲載内容について細心の注意を払っておりますが、不可抗力によって情報に誤りを生ずる可能性もございますので、ご注意下さい。

問い合わせ先

シンメンテホールディングス株式会社
I R担当

E-mail : info@shin-pro.com

Tel. : 03-6260-1572

Fax. : 03-6260-1840

ホームページ : <https://www.shin-pro.com/>